**福祉事業所のBCPとBCM　第４回「タイムラインの作成」01191004whj**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| シート＃ | シートタイトル | 小見出し | 要点　「」はテロップ |
| P1  右下 | タイムラインの形 |  | タイムラインは、横軸は時間、縦軸に、想定、業務を書く。  タイムラインは工程表で、ガントチャートとも呼ばれることもある。  通常の工程表やガントチャートと異なる点は、想定を入れる欄があるところ。  想定には、ライフラインの停止が何日間続くのか、出勤できる職員がどのくらい少なく何日位続くのか、などを書く。  右の主な担当班名には、誰が業務を担当するかを書く。これもタイムラインの特徴的な部分であると思う。 |
| P2  左上 | タイムラインの作成① |  | まず最初に被害想定を記入する。  ライフライン（停電、断水、ガスの停止）について、施設の立地によりリスクが違うので、それぞれにあった日にちを入れる。  職員の出勤が困難な割合がどれくらいかも入れる。  それを書くことで、災害時の状況を意識しながらタイムラインを作成することができるので重要である。  大規模災害時には職員が減ることを必ず記入していただきたい。 |
| P2  右上 | タイムラインの作成② |  | この表は地震対応について書いている。  まずは、命を守るためにやるべきことを縦軸に記入し、それを実施するタイミング（横軸：時間軸）に色を付けると、どのタイミングで何をやるのか具体的にわかるようになる。  施設の立地によりやるべきことが異なるので、十分配慮していただきたい。  具体的には、津波がある所では、避難の優先度が高い。表では外部の報告が2時間～6時間となっているが、津波発生後に報告が難しいのであればもっと遅い時間に設定してもよい。  「それぞれ事業所のリスクに合わせて、どのタイミングで対応するのか、できるのかを考えて、色を付けていくと、個別性に対応したタイムラインになる」。  右の主な担当班名に、「誰がそれを対応するのかを書くとやるべきことが明確になる」。具体性があがるのでなるべく書いてください。  なかなかすぐに書ききれないということもあると思うが、「必ず皆さんで検討して、暫定的にでも書いておくことをお勧めします」。 |
| P2  左下 | タイムラインの作成② |  | 災害から命を守った後の、事業継続についてです。  縦軸は、ビジネスインパクト分析で優先度を高くつけた業務を上位に、業務を順番に並べる。医療ケア、水分、排せつ以外の業務も並べてタイムラインを追加してください。  横軸は、枠内に具体的に、ライフラインが止まっている中でその業務をどうやるのか備考を書くと概要がわかり、実際に動きやすい。 |
| P2  右下 | タイムラインの改定 |  | 「今までなかったようなリスクが追加されたり、必要なかったことが急に必要になると、（タイムラインに追加すべき業務が）見えてくる場合がある」。そうした場合には、業務を追加して、タイムラインを見直し改定することが非常に重要になる。 |
| P3  左上 | タイムライン作成のその後 | 物品を用意する | 物がないのでできない、物の場所を知らないのでできない、ということがないようにする。 |
| 年間計画の作成 | BCP策定後のマネジメント、BCMに含まれる部分である。 |
| P3  右上 | 各業務を実行できるようにする | 医療ケア | ライフラインが停止している時に、痰の吸引はどのようにするのか。  タイムラインを見て吸引を行うのも難しいので、例えば、停電時の吸引の手順書を新たに作成しておき、対応できるように、物品も購入しておくことが必要になる。  もう一つ重要なのは、手順書だけではなく、訓練や管理をしっかりする。 |
| P3  左下 | 年間計画（例） |  | 年間計画には、何月に誰を対象に何をするかを記入するが、時期を意識するのがポイント。風水害の対策であれば、出水期と呼ばれる6月から10月の前、5月にその対策を確認する。  必ずやっていただきたいのは、訓練の後は振り返りをして、見直しをする。  おそらく最初に作ったマニュアルはほとんど機能しないと思われるので、反省の時に、どこがどう違っていたのか、どこをどう変えたらより良いのか、振り返りをしてマニュアルを見直してください。それがBCMにつながります。 |
| P3  右下 | BCPとBCMの作成時のキモ！① | 動機付け・BCPの理解 | 災害がどの程度影響を及ぼすのか、被災の事例をみなさんで共有して、やらなければいけない、ということをみなさんで認識する。 |
| 体制の構築 | 必ず複数で作成する。防火管理者が1人で作らない。他の人の意見を聞き、経営判断が必要になるので、経営トップが関与する。委員会を設置することが重要。 |
| リスクの把握と選定 | リスクの把握は必須。福祉サービスでの利用者に対するアセスメントと同様に、BCPも必ずリスクの把握をする。  ライフラインの停止期間など細かいことは、いくら考えてもわからないので、おおよその見込みで「決める」ことが大事。 |
| 目標の設定 | 目標の設定は通常の防災と大きく異なる点。いつまでに何をどの程度再開するのか、目標を設定する。単独の事業所であれば業務になり、法人全体で作る場合には、どの事業を優先させるのかということになる。 |
| タイムラインの作成 | いきなり3か月後、半年後のタイムラインを考えるのは難しいので、初動から考え、徐々に期間を延ばし、まずは1か月を目安に作っていただくといいと思う。 |
| 個別、詳細の作成、運用方法の作成 | 少しずつ進めていただけたらいいと思う。 |
| P4  左上 | BCPとBCMの作成時のキモ！② | ●本来BCPの策定は、… | BCPは経営判断を伴うので、担当で作って、トップや現場に確認すると、半年から1年ぐらいはかかると思う。 |
| ●困ったら専門家に相談… | 損害保険会社や銀行がある程度の相談にのってくれると思うので、取引先に相談してみてください。 |